

## 【エクアドル内政・外交：2012年11月】

### 1. 概要

11月 8日	当国外務省は、オバマ米国大統領再選への祝意を表明する外務省コミュニケーションを発出
9日	閣僚交替
15日	2013年大統領選・副大統領選に各々8名が立候補を表明。
23日	エクアドル・ペルー首脳会合及び第6回両国合同閣議
30日	コリア大統領の UNASUR 出席

### 2. 内政

#### (1)2013年大統領選、副大統領選

##### ア. 候補者登録の受付締切

15日、大統領選挙及び副大統領選のポストに各々8名が次の通り立候補を表明した。

- (i)国家同盟(Alianza Pais)ーラファエル・コレアーホルヘ・グラス
- (ii)左派多党統一(民主大衆運動党(MPD)ーパチャクティ(Pachakutik)同盟)ーアルベルト・アコスターマルシア・カイセド
- (iii)CREOーギジェルモ・ラッソーファン・ソリネス
- (iv)愛国協会党(SP)ールシオ・グティレスーパール・アン・ボジェス
- (v)エクアドル・ロルドス党(PRE)ーアブダラ・ブラカムーデニイ・セバジヨス
- (vi)PRIANーアルバロ・ノバアーアナベラ・アシン
- (vii)SUMAーマウリシオ・ロダスーイネス・マンサノ
- (viii)ルプトウーラ(Ruptura)ーノルマ・ウェイーアンヘラ・メンドサ

##### イ. 選挙管理委員会(CNE)による候補者承認

20日、CNEは、各々8名の立候補のうち、PRE党のアブダラ・ブラカム元大統領は候補者資格を満たしていないとして候補者として認めなかったため、PRE党はネルソン・サバラを新たな候補者に擁立した。26日、CNEは、PRE党の各候補であるネルソン・サバラーデニイ・セバジヨスを承認し、2013年大統領選、副大統領選に出馬する候補者は8組となった。

#### (2)閣僚交替

コリア大統領は9日付大統領令第1353号及び28日付大統領令第1365号を以て、6閣僚の交替を発表した。

##### ア. 戦略調整大臣

ホルヘ・グラス戦略調整大臣の辞任を承認し、ラファエル・ポベダ・ボニージャ(Rafael Poveda Bonilla)戦略調整副大臣を後任に任命した。

##### イ. 国防大臣

9日、ミゲル・カルバハル国防大臣に代わりカルロス・ラレア・ダビラ(Carlos Larrea Davila)国防副大臣に同職を委任し、28日、マリア・フェルナンダ・エスピノサ(María Fernanda Espinosa)遺産調整大臣を後任に任命した。

##### ウ. 環境大臣

アギニャガ環境大臣の辞任を承認し、ロレナ・タピア・ヌニェス(Lorena Tapia Nunez)を後任に任命した。

##### エ. 政策調整大臣

9日、ソレダ・ブエンディア政策調整大臣に代わりファブリシオ・プロアニョ・モレノ(Fabrizio Proano Moreno)政策調整副大臣に同職を委任し、28日、ベアトリス・トラ(Ana Beatriz Tola

Bermeo)元政策調整大臣を任命した。

オ. 遺産調整大臣

28日、マリア・フェルナンダ・エスピノサ遺産調整大臣の辞任を承認し、マリア・ベレン・モンカヨ(María Belén Moncayo)に同職を委任した。

カ. 国家移民庁長官

9日、フランシスコ・アゴ国家移民庁長官に代わりエステファニ・サントス・カスタネダ(Estefani Santos Castaneda)国家移民庁顧問に同職を委任し、28日、ロレナ・エスクデロ・ドゥラン(Lorena Escudero Durán)元国家移民庁官を任命した。

キ. また、大統領秘書に関し、グスタボ・ジャルクに代わり、レオナルド・ベレスエタ・カリオンが(Leonardo Berrezueta Cariion)元アスアイ県知事が任命された

### **3. 外交**

#### **(1) UNASUR**

29日、コリア大統領は UNASUR 第6回首脳会合に出席するため、ペルーに外遊した。首脳会合に先立ち開催された UNASUR 外相会談では、エクアドルの提案により、米州人権委員会の改革について議論するための会合を来年1～2月の開催することをインスルサOAS事務局長に提案することが全会一致で決定された。

#### **(2) 対米関係**

8日、エクアドル外務省は、主権的及び民主的な選挙決定によりバラック・オバマ大統領が再選されたことにつき米国国民に対し心より祝意を表明するとともに、両国が国民の自由意思決定、人権、民主的原則を尊重しながら共通の課題に立ち向かうための解決策や好機を見つけるために共に働く意思を再確認する旨の外務省プレスリリースを発出した。

#### **(3) 対ペルー関係**

23日、ウマラ・ペルー大統領が当国のクエンカを訪問し首脳会談及び40人以上の両国の閣僚が出席した第6回閣僚会合を開催し、コリア大統領との間で文化、環境、商業、エネルギー、観光、テレコミュニケーション、社会発展・協調に関する8つの合意書に署名した。両国首脳は、二国間の国境地帯に何十年もの間存在する貧困及び不平等と戦っていくとし、国境地帯に居住する両国民の生活状況を改善するために行動を起こしていく必要性を強調した。